

第4回遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会

日 時	令和8年2月13日（金） 13:30-14:10
場 所	静岡県庁別館9階特別第二会議室
出席者	※出席者名簿のとおり

挨拶

第3回協議会では、利活用提案公募において、民間事業者からいただいた提案内容や公園整備及び公園周辺の計画の進捗状況等について情報共有した上で、今後の進め方について協議をさせていただきました。その時点では、民間事業者からの提案は、行政が全額費用負担することを前提としたものがほとんどであった。

その後、道の駅の計画の具体化など、浜松市による公園を含む周辺の実現が進展している。また、本日期成同盟会から、賑わいの創出や県全体の活性化のためにも、スタジアムの実現に向けもう少し時間をかけて民間投資の実現に向けて取り組むよう要望があった。

現在自治体の財政運営が厳しい状況において、県と市だけでは、投資できる部分は非常に限られてくる。民間の投資、民間活力の活用は大変重要である。

本日の協議会では、今後の進め方について、検討していきたい。（塚本会長）

議事（1）これまでの経緯（資料1）

利活用提案公募における民間事業者の提案は、行政による全額負担を前提としたものがほとんどであった。その一方で、民間事業者からは「ソフト面の工夫次第では、将来的には魅力的な投資案件になる可能性がある」との意見もあった。また、浜松市の委員からは、「もう少し時間を掛けていろいろな可能性を探ってはどうか」との意見もいただいた。

民間事業者からいただいた提案を集約したイメージ図を3、4ページに示す。提案のあった導入機能を利用目的別に整理し、野球場の規模・構造との親和性を踏まえ、導入機能を割り振り、4つに集約した。

事務局では、ここまで作業を進め、引き続き、定量、定性評価をする予定であったが、その後、道の駅の計画の具体化など、市による公園を含む周辺の実現が進展し、また、浜松市、市議会、浜松商工会議所及び市自治会連合会からなる「多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会」から、民間投資の実現に向けた要望があるとの話があった。そこ

で、作業を一旦中断し、今後の進め方について、改めて議論することとした。（県事務局）

（質疑）

- ・ 令和7年3月に事業認可を取得した10haの用地取得の現状と、今後の予定について教えていただきたい。（浜松市中村委員）
- ・ 昨年11月に地権者約140名を対象とした地元説明会を開催し、約110名、対象地権者の約8割の方が参加された。現在、用地境界の立会いに向けた準備を進めており、また現地は農地であることから、土地改良区の受益地からの地区除外の手続きが必要であり、来月開催される総会で、地区除外の承認が得られた後に本格的に用地買収を進めていくことになる。用地取得費は今年度より、国の交付金事業を活用して進めており、令和8年度の当初予算に必要額を計上している。（県事務局）

議事（2）浜松市からの説明（資料2）

本日、多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会が、知事及び県議会議長へ要望を行った。多目的ドーム型スタジアムは、幅広い用途への活用が可能であり、交流人口の拡大や賑わいの創出に繋がるものである。厳しい財政状況の中で、多目的ドーム型スタジアムを建設するためには、民間投資の実現が重要な要素となるが、昨年実施した利活用提案公募では、将来的には投資の可能性もあるとの意見をいただいた。本市としても、道の駅や武道館は、民間投資の呼び込みに資するものとして、公園整備に先行して検討を進めているところである。以上を踏まえ、本市としては、一定の期間を設け、民間投資の可能性を深掘りしていくことが望ましいとの認識であり、最大限協力していく考えである。こうした考えを、経済界、地域、議会で共有をしたことから今回の要望に至ったものである。

（要望書の内容について説明）（浜松市事務局）

（質疑）

- ・ 道の駅と武道館整備の検討について、最新の状況をご説明いただきたい。（県高梨委員）
- ・ 道の駅については、今年度末を目標に基本計画の策定を進めている。1月19日に浜松市議会への中間報告として、基本方針、整備候補地、導入機能、規模、事業手法などについての状況を説明した。整備方針については、国道1号篠原東交差点周辺の3ヶ所の中で、交差点南西部を有力な候補地として検討を進めている。最終的には基本計

画の中で位置を定めていく。また、浜松市の令和8年度当初予算に新たに道の駅関連予算として、事業者選定に向けた用地調査等の予算を盛り込んだ。まずは基本計画を元に、道路管理者等との協議調整を行った上で、事業者選定に繋げていく。（浜松市工藤委員）

- ・ 武道館については今年度中に、場所、規模等を検討し報告する。2月5日の市議会において検討結果を報告した。場所については、篠原地区のToBiO北側を候補地の一つとしていたが、公園の整備、道の駅の整備との相乗効果も得られるということでこちらの場所に決定した。規模については、現在浜松アリーナ等でも開催されている1000人規模の大会等が開催できる規模で整備をしたいと報告した。また、令和8年度当初予算に建設地の地質調査および基本設計に係る予算を来年度盛り込んだ。スケジュールとしては、令和14年度の供用開始を目指して整備を進めたいと報告した。（浜松市杉田委員）

議事（3）民間投資の可能性深掘り方針（案）（資料3）

県営公園のスポーツ施設の配置バランスなどを踏まえると、西部地域に野球場は必要である。

利活用提案公募の結果、その時点では、公園整備について「全額公共負担を前提とした提案」が多数であった。また、利活用提案公募の期間が約2ヶ月間であり、十分な検討時間が確保できていなかった可能性がある。

一方で、野球場の概算事業費は、基本計画で算出しているが、物価高騰が続く中、増大が見込まれている。

財政状況が厳しい中、どのタイプの野球場を整備する場合でも民間活力の活用が重要である。民間投資が具体的になれば野球場タイプの選択肢が広がるだけでなく、財政負担の軽減につながる可能性がある。これらの現状を踏まえると、「民間投資の可能性が残っているのなら、これを追求する意味はある」と考える。

投資を呼び込みやすくするためには、民間が投資判断する目安となるように、行政負担の考え方を示すことが必要である。また、民間投資の可能性の検討には一定の期間が必要だと考えるが、西部地域の野球需要に対応するためには、事業計画に遅れが生じないようにすることが必要である。

以上を踏まえ、方針（案）として、「行政が負担する上限及び一定の検討期限を設定した上で、民間投資の可能性を深掘りする」ことを提案したい。（県事務局）

（質疑）

- ・ 行政が負担する上限、一定の検討期限とあるが、現時点で具体的にイメージしているものがあれば教えていただきたい。（県鈴木委員（代理出席））
- ・ 具体的には今後県と市で調整の上、示していきたい。特に検討期限については、公園整備の全体スケジュールに影響がないように設定したい。（県事務局）
- ・ 提案が既にあった9者への結果の報告はどのようにするのか考え方を確認したい。（浜松市濱田委員）
- ・ 公募結果については12月議会にて報告しており、9者に対しては、今後さらなる民間投資の深掘りを進めていくことを伝えるとともに、提案があったアイデアについては、民間投資の可能性を探る中で、活用していくことを伝えたい。（県事務局）
- ・ 現時点で深掘りのイメージがあれば事務局から教えていただきたい。（浜松市北嶋委員）
- ・ 民間投資の深掘りについては、今後体制や進め方について、県と市で調整していきたい。（県事務局）
- ・ これから深掘りの方法について検討していくということで良いか。（塚本会長）
- ・ 本日の協議会で確認を取った上で、議会にも話をしながら具体的な話を詰めていきたい。（県事務局）

議事（4）今後の進め方（資料4）

- ・ 資料3で説明した「民間投資の可能性深掘りの方針（案）」を2月県議会で説明し、議論していただいた上で、民間投資の可能性の深掘り方針を決定したい。その後、令和8年度から民間投資の可能性の深掘りを進め、結論が出た段階で、改めて協議会を開催し、県・浜松市・民間の役割分担等や、最適な野球場の規模・構造について、とりまとめる。その後、県・浜松市・民間の役割分担等や野球場の規模・構造を決定し、メイン野球場部分を含めた区域の事業認可取得、用地調査・用地取得、PFI事業の事業者選定、事業着手と進めていく。（県事務局）

（質疑）

- ・ 民間投資の深掘りをした後に協議会を進めていくということによいか。（浜松市北嶋委員）
- ・ 民間事業者には公園区域内の用地取得の進捗状況や、公園周辺のまちづくりに関する情報等の提供などを想定し、今後の協議会の開催については、民間投資可能性の検討の進め方や、事業の進捗状況、情報共有等を行うために、必要に応じ開催していきたい。（県事務局）
- ・ 深掘りをした後に協議会ということになっているが、状況に応じて協議会を開いて内容を詰めることがあれば進めていくという理解によいか。（浜松市北嶋委員）
- ・ 御認識の通り。（県事務局）
- ・ 深掘りの段階を追って協議会を開き、県として情報共有していきたいので、事務局の方の進め方にもご留意いただきたい。（塚本会長）

その他

- ・ 多目的ドーム型スタジアムの実現は地域の熱い思いであり、本日午前中の期成同盟会等からの要望の意を汲んでいただき、民間投資の可能性を深掘りしていくことを今後の方針案として、ご提案をいただき、大変ありがたい。また本日の議論において、民間投資検討の今後について委員間で認識を共有できたことは、この協議会としても大きな前進である。今後の民間投資の深掘りについては、民間事業者の知見を活用し、市にもご相談をいただきながら、できる限り早期に、民間投資の実現に繋がることを大いに期待したい。（山名副会長）
- ・ 本日の議事内容の「民間投資の可能性深掘り方針（案）」と「今後の進め方」について、御承認するという事で御異議ございませんか。（塚本会長）
- ・ 意義なし。（全員）
- ・ 「民間投資の可能性深掘り方針（案）」における、行政が負担する上限と検討期限の詳細については、今後、県・市で調整し、そのうえで会長、副会長で確認させていただくという形で進めさせていただく。（塚本会長）

以上